

安芸地域アクションプランの 進捗状況確認資料

安 芸 地 域 本 部

令和4年6月30日（木）

安芸地域アクションプランの進捗状況確認資料 (令和3年度の実施状況と令和4年度の展開)

R4.6.30

安芸地域本部

1 地域アクションプランの令和3年度の実施状況と令和4年度の展開（総括）

(1) 総評

令和3年度は、全項目（30項目）について、実行支援チームを編成し、各市町村のまち・ひと・しごと創生総合戦略の取り組みと歩調を合わせて、市町村や関係団体、民間事業者等との連携・協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進している。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各地で集客イベントの中止や制限が相次いでいるほか、地域間交流の自粛により人の動きが少なくなったことなどから、地域の観光施設や宿泊施設等への入込客数は低迷しており、厳しい状況が続いているものの、社会・経済構造の変化等に対応した新たな取り組みや県市町村の独自の支援策を活用した取り組みなど、地域経済の回復に向けた動きも見られる状況となっている。

農業分野では、ユズについて、栽培講習会の実施のほか、優良系統苗の確保や鳥獣被害対策の実行支援などを行い、生産者の栽培技術向上につながったが、秋の少雨と隔年結果のため、令和3年度の総出荷量は対前年比83%となった。ナスについては、生産拡大と産地力の向上を目指して環境制御技術の推進や品質向上に向けた栽培指導などに取り組んでいるほか、付加価値向上に向けて、加工品の開発・磨き上げや機能性表示を利用した販売促進に取り組んでいる。

林業分野では、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が一部で見受けられる中、土佐備長炭の生産量拡大を目指すため、原材料の確保に向けた森林情報の解析を進めるとともに、生産技術を継承する後継者育成の研修や原木の地域内再生産による生産コスト縮減など、地域伝統産業としての基盤整備に取り組んでいる。

さらに、林業加工品関係では、馬路地域の林業事業者が経営力強化のために事業計画の見直しや経費縮減を目指した事業戦略の策定に取り組み、事業の維持と雇用の継続に努めている。

水産業分野では、近海マグロの加工品開発や製造体制の構築、加工業者の製造における衛生管理の推進など、付加価値向上と販路拡大の取り組みを進めている。

商工業分野では、芸西村の特産品であるサトウキビを活用した加工品の開発や販売促進に取り組んでいるほか、安芸市において、中心商店街振興計画の策定に向け、関係

者と連携しながら取組を進めている。

観光分野では、コロナ禍の影響から、圏内主要施設訪問者数及び圏内宿泊者数は減少しており、厳しい状況が続いている。その中でも、令和3年4月には「安田川アユおどる清流キャンプ場」がリニューアルオープンするなど、拠点施設の魅力向上が進んでいる。また、土佐の観光創生塾を活用した着地型観光商品の造成・磨き上げなど観光コンテンツの充実に取り組んでいる。さらに、日本遺産のストーリーや世界で初めて本格営業運行する「DMV（デュアルモードビークル）」といった安芸地域ならではの資源を活かした観光需要の喚起に努めているほか、高知県東部観光協議会を中心に教育旅行の誘致、受入拡大やマーケティングの強化を図っている。今後は、新たな旅のスタイルの視点も取り入れながら、引き続き、地域の観光施設等の磨き上げを行うとともに、国・県の事業やアドバイザー、マーケティングデータ等を活用したコンテンツ造成及び情報発信等に取り組んでいく。

令和4年度は、昨年度に引き続き実行支援チームを編成し、事業推進に向けた協議と進捗管理を行うとともに、市、関係機関等と連携し各種支援制度の活用などにより、それぞれの目標の達成に向けて取り組んでいく。

(2)目標の達成に向けた進捗状況等

※進捗状況の基準について

指標	進捗状況の基準
S	数値目標の達成率 110%以上
A	数値目標の達成率 100%以上110%未満
B	数値目標の達成率 85%以上100%未満
C	数値目標の達成率 70%以上 85%未満
D	数値目標の達成率 70%未満
-	達成度の判断が困難なもの

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
農業	1 安芸地域のユズを中心とした中山間振興 (安芸地域全域) 【実施主体】 ◎JA高知県 (安芸地区) ◎JA馬路村	総出荷量 (JA高知県) 5,079 t (H27-R元平均)	5,262t	5,529t	5,300 t (H30-R3平均)	5,500t (R2-R5平均)	1 新植・改植の推進 ・勉強会や講習会の開催 ・優良系統苗木確保に向けた取組 (母樹管理指導、穂木確保等) ・生育調査の実施 (発芽、開花、肥大調査)	1 新植・改植の推進 ・勉強会や講習会の開催 (17回) ・優良系統苗木の確保 摘果等に関する指導 (6回) ピッチング調査及び穂木の採取 (10回) ・生育調査の実施 (20回)	5,169t (直近4カ年平均) ・R3目標達成率: 97.5% ・対前年 (直近4カ年平均) 比: 100.6% ・R3年度実績値: 4,608t ・対前年比: 83.3%	B	(成果) ・総出荷量: 4,608 t (青果: 322t、加工用: 4,286t) ・R3新改植面積約10ha、R5年春渡し用苗約 6,600 本に対応できる穂木を採取 (課題) ・コロナ禍における効果的な勉強会等の開催 ・新規優良系統探索の仕組みづくり (今後の方向性) ・現状通り、モデル園や栽培便りの活用、個別指導による生産者のニーズに応じた栽培管理指導を継続。 ・新規優良系統の探索に向けた現地調査の実施	5,400t (R元~R4平均)	1 新植・改植の推進 ・勉強会や講習会の開催 ・優良系統苗木確保に向けた取組 (母樹管理指導、穂木確保、新規優良系統探索等) ・生育調査の実施 (発芽、開花、肥大調査)
							2 ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓 ・SNS等を利用した消費宣伝 ・青果輸出に向けた取組 (指導、出荷量検討等)	2 ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓 ・首都圏日経新聞への商品PR折り込みチラシ (約15万部) ・リスティング広告、facebookを利用した商品PR ・輸出作業のスケジュール、実績等について協議 (2回) E U向け青果輸出に向けた選果指導 (1回)	8.1億円 ・R3目標達成率: 95.3% ・対前年比: 100.0%	B	(成果) ・新商品開発: 5種 ・EU向け青果輸出量: 2.3 t (課題) ・コロナ禍の影響による消費宣伝の開催制限 (今後の方向性) ・現状どおり、SNSの活用や機会を捉えた消費宣伝活動を継続。		2 流通・販売上の対策 ・SNS等を利用した消費宣伝 ・青果輸出に向けた取組 (指導、出荷量検討等)
農業	2 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト (室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、芸西村) 【実施主体】 ◎JA高知県 (安芸地区) ゆめファーム全農こうち (株)アグリード土佐あき 安芸市担い手支援協議会 安芸市施設園芸消費拡大委員会 (一社)高知県東部観光協議会 (一社)安芸市観光協会 安芸商工会議所 地元加工業者 加工グループ 地元飲食店 地域直販所 (一社)こうち絆ファーム ※地域産業クラスター関連 (日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト)	出荷量(9~8月) 18,674t	19,475t	18,996t	19,200t	20,000t	1 生産拡大と品質向上の取組 ・ゆめファーム全農こうちへの技術指導 ・環境制御技術の推進 ・生理障害果、難防除病害の対策 ・新規就農者の早期経営安定支援 ・アグリサポートによる労働力確保	1 生産拡大と品質向上の取組 ・検討会、勉強会等の開催: JAナス部会等 23回、ゆめファーム全農こうち 8回 ・個別巡回指導および発生調査: 環境制御技術指導 566回、生理障害果指導・調査 350回、難防除病害指導・調査 116回 ・新規就農者への個別巡回指導 20人延べ381回、安芸市担い手支援協議会幹事会 13回、安芸市就農支援チーム会 10回 ・農福連携研究会定例会 12回、農福連携高知県サミットinあき 1回	19,119t (R3園芸年度) ・R3目標達成率: 99.6% ・対前年比: 100.6%	B	(成果) ・ゆめファーム全農こうち10a当たり収量: 土耕30t、養液35t ・環境制御技術導入面積率: 47.5% ・難防除病害ナスザリウム立枯病の発生率: R4園芸年度0.19% ・新規就農者数: 4人(安芸市担い手協関与) ・農福連携による雇用マッチング数: 農家7人、多機能事業所17人(11月末) (課題) ・さらなる生産拡大と品質向上への支援 (今後の方向性) ・重点指導対象及び新規就農者の目標達成に向けた技術指導の実施	19,500t	1 生産拡大と品質向上の取組 ・ゆめファーム全農こうちへの技術指導 ・環境制御技術の推進 ・生理障害果対策 ・新規就農者の早期経営安定支援 ・アグリサポートによる労働力確保
							2 ナスを使った新規加工品の開発・販売 ・新規加工品の開発・販売 ・加工品の販路拡大 3 ナスの消費拡大と認知度向上 ・機能性表示を生かした販売促進 ・料理レシピ動画の制作	2 ナスを使った新規加工品の開発・販売 ・現在の活動内容、冬季の販売戦略、ホームページのリニューアルによる販売強化等について協議 (6次産業化アドバイザーを招いたチーム会 (安芸グループふぁーむ) 5回) 3 ナスの消費拡大と認知度向上 ・機能性のPR方法についての検討 ・料理レシピ動画 3本制作及び公開	2件 (R2~R3累計) ・R3目標達成率: 100.0% ・対前年比: 100.0% R3年度実績値: 0件 ※コロナの影響もあり新規加工品開発の機運が高まらなかった	A	(成果) ・レシピ動画制作: 2本 (当初目標の累計10本達成) ・新コンセプトのレシピ動画制作 (なす2本で作るレシピ): 1本 (課題) ・加工業者の掘り起こしと販路開拓 ・機能性表示の更なる認知度向上と消費拡大への活用 (今後の方向性) ・コロナの影響で中止されていた加工品の開発再開 ・機能性表示の認知度向上と消費拡大に向けた販売促進活動の実施		2 ナスを使った新規加工品の開発・販売 ・業務用冷凍揚げナスの開発支援 (試作、OEM先の調査等) 3 ナスの消費拡大と認知度向上 ・機能性表示を生かした青果販売 ・新たな料理レシピ動画の制作 ・ナス料理等提供店と連携したスタンプラリーの開催

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
農業	3 東洋町のボンカンの加工品開発と後継者確保による地域振興 (東洋町) 【実施主体】 ◎フクチャンFARM ◎東洋町 ボンカン生産者 甲浦の果樹仲間	商品開発数 15商品 (H28~R元累計)	1商品	0商品	1商品	4商品 (R2~R5累計)	1 ボンカン加工品の新商品開発と販路拡大 ・新商品の検討・開発・販売 ・既存商品の磨き上げ ・プロモーション活動の実施 ・東洋町ボンカン振興対策協議会への参画	1 ボンカン加工品の新商品開発と販路拡大 ・6次産業化サポートセンターのアドバイザー派遣(5回) ・令和3年度高知県6次産業化商品力向上事業費補助金の活用によるパッケージ作成(ボンカンゼリー) ・れんけいごうちのイベントへの参加(6/19、6/20) ・東洋町ボンカン振興対策協議会総会の開催(2回) ・DMV本格営業運行の開始式典にて、ボンカンジュース鏡開きを企画・実施 ・県内大手量販店でのボンカン取り扱い	1商品	A (成果) ・イベントへの参加等を通じたボンカン産地のPRの実施 ・東洋町ボンカン振興対策協議会への参画を通じた各機関との連携の強化 ・地域おこし協力隊が、3名の農家の元で作業に従事 (課題) ・認知度の向上	1商品	1 ボンカン加工品の新商品開発と販路拡大 ・既存商品の磨き上げ ・商談会等への参加 ・新商品の検討・開発・販売 ・プロモーション活動の実施 ・東洋町ボンカン振興対策協議会への参画 ・海の駅東洋町での既存商品のPR	
							2 後継者の確保 ・地域おこし協力隊の募集、受入体制の整備	2 後継者の確保 ・地域おこし協力隊の採用(7/1)	8,396個	A (今後の方向性) ・東洋町ボンカン振興対策協議会で、ボンカン加工品・果汁の活用についての検討を強化 ・地域おこし協力隊などの受入体制の強化			2 後継者の確保 ・地域おこし協力隊の募集、受入体制の整備 ・収穫期における特定地域づくり事業協同組合の活用
農業	4 芸西村の白玉糖による地域活性化 (芸西村) 【実施主体】 ◎芸西村製糖組合 ◎大和リゾート(株) 芸西村 集落活動センターげいせい 生産者グループ	村内サトウキビ収穫量 19t (H30)	22t	31t	23t	38t	1 技術を継承する人材育成 製糖作業への参画を通じた人材確保・育成	1 技術を継承する人材育成 ・フェイスブック等を活用した情報発信と人材募集	34.8t	S (成果) ・白玉糖を活用した加工品の取引先が広がり、白玉糖を知ってもらう機会の増加。 ・サトウキビづくりのモニターの確保(2組) (課題) ・HACCPに対応した施設の開所に向けて協議を進める必要がある。 ・コロナ禍の影響による黒糖体験の人数が伸び悩み。	35t	1 技術を継承する人材育成 ・情報発信の強化とモニターの確保 2 白玉糖の販路拡大・品質向上 ・白玉糖の販路拡大・生産拡大 取扱い事業者の開拓 サトウキビの生産量の拡大 ・衛生面の強化 白玉糖の生産時におけるHACCP に対応した衛生手順の順守	
							2 白玉糖の販路拡大・品質向上 ・白玉糖の生産拡大 ・マニュアルに沿った栽培 ・衛生面の強化	2 白玉糖の販路拡大・生産拡大 ロイヤルホテル土佐が白玉糖活用した商品を展開(食パン、シフォンケーキ、フィナンシェ等) 白玉糖の加工品の取引先の確保(高知空港、県庁生協、ごうち生協等) ・衛生面の強化 芸西村、製糖組合等との協議2回(7/12 7/20) HACCP研修の受講 1名 HACCP専門家派遣の受入 3回	35人	C (今後の方向性) ・継続して白玉糖の販路拡大と品質向上及び新施設の整備に向けた調整を行う。			3 体験メニューの作成・磨き上げ ・製糖組合、ロイヤルホテル土佐、芸西村、県での意見交換(6/18) ・黒潮町黒糖づくり作業場視察&ヒアリング(6/30)

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
林業	5 土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化 (室戸市、東洋町) 【実施主体】 ◎室戸市木炭振興会 ◎土佐備長炭室戸生産組合 ◎土佐備長炭生産組合 ◎土佐備長炭東洋組合 ◎備長炭生産者 室戸市 東洋町	生産量 1,284 t (H30)	1,310 t	1,232 t	1,434 t	1,534 t	1 従事者の拡大 ・新研修生の受け入れ 2 生産施設の整備 ・製炭窯の設置等 3 原木林の造成 ・ウバメガシ人工造林に関する情報収集等	1 従事者の拡大 ・新規研修生の受け入れ(室戸市1名、東洋町2名) ・研修継続(室戸市3名、東洋町2名) 2 生産施設の整備 ・土佐備長炭東洋組合(東洋町:製炭窯4基) ・製炭原木搬出用の作業路15路線6,415mを開設(室戸市) 3 原木林の造成 ・ウバメガシの苗木確保方法の検討 ・カシナガキクイムシ被害定点調査とナラ枯れ被害対策連絡協議会の実施(室戸市:協議会2回)	1,233 t (推定値) 注) 確定値の公表は、 秋以降の予定 ・R3目標達成率: 86.0% ・対前年比: 100.1%	B	(成果) ・新研修生の確保と2年目研修生の継続 ・新たな製炭窯4基の導入 (課題) ・新型コロナウイルスの影響による生産調整 ・製炭用原木の調達 (今後の方向性) ・取り組みの継続と、ウバメガシの苗木確保方法の検討	1 従事者の拡大 ・新研修生の受け入れ 2 生産施設の整備 ・製炭窯の設置等 3 原木林の造成 ・ウバメガシ人工植栽に関する情報収集等	
													6 馬路の林業加工品の販売促進 (馬路村) 【実施主体】 ◎(株)エコー馬路村 ◎馬路木材加工協同組合 馬路村森林組合
雇用者数 (加工部門) 22人 (H30)	21人	22人	22人	22人	1 漁業者による加工品の製造販売 ・販路開拓や商品開発 ・加工場建設 ・商談会等への参加 ・各種イベントの実施や広報(近海マグロのP R) 2 水産加工業者による加工品の製造販売 ・販路開拓・商品開発 ・衛生管理体制の構築	1 漁業者による加工品の製造販売 ・販路開拓や商品開発 ・冷凍加工品を検討 ・加工場建設 事業計画を策定し、建設工事に着手 室戸市企業立地促進事業費補助金の活用(R4繰越) 高知県新事業チャレンジ事業費補助金の活用(R4繰越) ・商談会等への参加 コロナ禍の影響で見送り ・イベントにおけるマグロの解体ショー:1回	70万円 ・R3目標達成率: 35.4% ・対前年比: 111.1%	D	(成果) ・加工場完成には至らなかったため、販売額は大きく向上しなかったが、事業計画の策定と詳細設計を実施し、加工場の整備作業は進捗 (課題) ・資材費高騰により工事費が大幅に増加 ・販路の開拓、商品開発 (今後の方向性) ・工事実施に向けた方向性検討 ・地元素材を使用した新商品の開発	1 漁業者による加工品の製造販売 ・加工場建設 ・商品開発 ・商談会等への参加 ・ネット販売の実施 ・各種イベントの実施や広報(近海マグロのP R)			
7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町) 【実施主体】 (1)漁業者 ◎(株)美阿丸 土佐室戸鯖軍団 室戸市定置漁業振興協議会 中芸定置網漁業振興協議会 (2)水産加工業者 ◎(株)タカシン水産(佐喜浜工場) ◎(株)山本かまぼこ店 漁師の食卓	(1)漁業者による加工品販売額 45万円 (H30)	50万円	63万円	198万円							300万円	2 水産加工業者による加工品の製造販売 ・販路開拓・商品開発 ・衛生管理体制の構築 施設整備 高知県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用(R4繰越) 高知県新事業チャレンジ事業費補助金の活用	2 水産加工業者による加工品の製造販売 ・販路開拓・商品開発 ECサイトの構築、新商品の開発 ・衛生管理体制の構築 施設整備 高知県産業振興推進総合支援事業費補助金の活用(R4繰越) 高知県新事業チャレンジ事業費補助金の活用

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画	
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析			
商工業	8 室戸海洋深層水による地産産業の推進 (室戸市) 【実施主体】 ◎深層水関連事業者 ◎室戸市	スジアオリの生産量 (高岡漁港) 3.3t (H30)	3.7t	3.6t	3.5t	3.6t	1 スジアオリ養殖事業の更なる発展 ・スジアオリ養殖事業の円滑な運営 2 深層水商品のブランド化による販売力の強化 ・各種イベント等への参加による海洋深層水のPR活動 ・海洋深層水の水質検査(セシウム検査を含む)の実施 ・海洋深層水の水質検査(セシウム検査を含む)の実施 ・海洋深層水の機能性表示への支援 3 海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進 ・室戸市海洋深層水推進構想のうち、優先度の高い事業に着手	1 スジアオリ養殖事業の円滑な運営 ・スジアオリの高生産及び高品質化に関する研究 2 深層水商品のブランド化による販売力の強化 ・県内外等でのイベント出展に向けた情報収集 ・水質検査(12回(月1回)) 3 海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進 ・構想に関する市、県との協議(4/13) ・構想に関する市、事業者との協議(6/5、7/6、7/9、9/1)	2.7t	・R3目標達成率：77.1% ・対前年比：75.0%	C	(成果) ・アクアファーム経営改善(保守管理費の見直し) (課題) ・スジアオリの胞子の育成不良 (今後の方向性) ・R元・R2の生産量の実績は、いずれもR5目標を達成する状況だったことから、R4の生産量の状況を見守る。	3.5t	1 スジアオリ養殖事業の更なる発展 ・スジアオリ養殖事業の円滑な運営 2 深層水商品のブランド化による販売力の強化 ・各種イベント等への参加による海洋深層水のPR活動 ・安心感醸成のための海洋深層水の水質検査の実施・公表 ・海洋深層水の水質検査の機能性表示への支援 3 海洋深層水を活用した新たな地域振興の取り組みの推進 ・室戸市海洋深層水推進構想のうち、アクアファームの経営改善、深層水PR事業に着手
商工業	9 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 (室戸市) 【実施主体】 ◎協同キラメッセ室戸(株) ◎室戸市	売上高 4.1億円 (H30) レジ通過者数 251,612人 (H30)	3.5億円	3.2億円	4.14億円	4.2億円	1 農産物の確保 ・庭先集荷、実証ほの継続 2 加工品の開発、販路拡大 ・情報発信の強化	1 農産物の確保 ・庭先集荷 週3回実施 ・実証ほ(イチゴ、ホウレンソウ)の継続 ・県外道の駅との商品補完に関する協議の実施(2回) 2 加工品の開発、販路拡大 ・加工場製造の人気商品ジェラート新味「監ジェラート」開発 ・ふるさと納税返礼品の活用 ・SNS(Twitter)を活用した積極的な情報発信 ・海洋深層水事業者とのコラボ商品の検討 ・加工品取扱先の拡大(アグリコレット、レストパークいの等) ・県外道の駅との連携協議(再掲)	3.43億円	・R3目標達成率：82.9% ・対前年比：107.2%	C	(成果) ・新型コロナウイルスの影響を受けつつも、加工場で製造する弁当宅配を開始するなど売上高の確保に努めている。 ・広島県道の駅「たかの」との加工品を含めた商品補填に関する協議を開始し、商品不足への対応を予定している。 ・高知県よろず支援拠点による訴求力を高めるパッケージデザインの検討を実施した。 (課題) ・農産物出荷者の高齢化に伴う集荷体制の強化 ・加工品や農産物(特に夏場)等の商品不足 (今後の方向性) ・市内事業者との加工品共同開発	4.14億円	1 農産物の確保 ・庭先集荷、実証ほの継続 ・県外道の駅との連携内容の具体化 ・SNSを活用した情報発信の継続 2 加工品の開発、販路拡大 ・加工品取扱事業者の拡大に向けた調整の実施 ・海洋深層水事業者とのコラボ商品の完成、販売の実施
商工業	10 室戸市中心市街地の活性化 (室戸市) 【実施主体】 ◎室戸市商工会 ◎室戸市	中心市街地での事業所の新規開業 ー (R元)	ー	2	2 (R2~R5の累計)	2 (R2~R5の累計)	1 中心市街地の活性化に向けた新たな取り組みの実施 ・中心市街地振興計画のうち、着手可能なものから実施 ・新規出店者の育成(チャレンジショップ事業) 2 既存商店街の魅力向上に向けた取り組みの推進 ・賑わいの創出(イベント実施)	1 中心市街地の活性化に向けた新たな取り組みの実施 2 既存商店街の魅力向上に向けた取り組みの推進 ※1、2ともに関わるため一連で記載 ・商店街事業者、室戸市商工会、室戸市3者による中心市街地活性化に関する意見交換会の実施(6/11) ・室戸市中心市街地振興協議会開催(11/11) 1 中心市街地の活性化に向けた新たな取り組みの実施 ・チャレンジショップ出店事業 →5事業者出店(H30~R3) 2 既存商店街の魅力向上に向けた取り組みの推進 ・賑わいの創出(イベント実施)の検討 4回(7/6、7/20、11/11、12/6)協議を実施 →新型コロナウイルス感染症の拡大のため、イベントは中止	4件(R2~R3累計) ・R3目標達成率：200.0% ・対前年比：200.0%	S	(成果) ・中心市街地振興計画を策定したことで、空き店舗対策や賑わい創出の協議を関係者で行えるようになった。 (課題) ・中心市街地の人口減少や空き店舗の増加などによる商店街の魅力低下 (今後の方向性) ・新型コロナウイルス禍でも実施可能な、賑わい創出策の検討と実施	2 (R2~R5の累計)	1 中心市街地の活性化に向けた取り組みの実施 ・新規出店者(チャレンジショップ)事業の募集 ・地域おこし協力隊など外部人材の導入 2 既存商店街の魅力向上に向けた取り組みの推進 ・賑わい創出に夏季夜市開催、または観光情報発信の実施	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
商 工 業	11 安芸本町商店街を中心とする地域の活性化 (安芸市) 【実施主体】 ◎安芸本町商店街振興組合 安芸商工会議所 安芸市	空き店舗等 を活用した 新規開業 0件 (H30)	0件	0件	3件 (R2～ R5累計)	3件 (R2～ R5累計)	1 商店街を中心とする地域の活性化 ・商店街活性化協議会（仮称）の設置 ・商店街振興計画（仮称）の策定に向けた協議の実施 ・商店街振興計画（仮称）の策定 ・商店街での新規開業希望者向けの空き店舗情報の収集・提供 ・コロナ禍におけるイベントの企画及び開催方法について検討	1 商店街を中心とする地域の活性化 ・安芸市中心商店街等振興協議会の開催（2回） ・安芸市中心商店街等振興協議会WGの開催（4回）（事業経営アドバイザー派遣事業の活用）→毎回40人以上が参加 ・WGメンバーによる商店街内の空き店舗の情報収集 ・商い甲子園実行委員会の開催（6回）→岩崎弥太郎源流の地フォーラムの会場内において商い甲子園のパネル展示を実施（コロナの影響で商い甲子園は開催中止） ・商店街内にキッチンカー出店（12月～）	・R3目標達成率：0% ・対前年比：0% ※2年続けて実績0件のため	-	(成果) ・振興協議会WGの開催により、様々な取組アイデアが出されるとともに、商店街振興組合のインスタアカウント作成やキッチンカーの取組実施につながった ・WGで検討した取組の実施に向け空き店舗の情報収集が実施され、活用可能な空き店舗1件確認 (課題) ・振興計画策定後に、各チームにおいて取組実施に向けた検討会を開催するよう意欲醸成が必要 (今後の方向性) ・振興計画策定に向け意欲醸成を意識しながらWGを実施 ・コロナ禍でのイベント開催方法について検討	3件 (R2～R5累計)	1 商店街を中心とする地域の活性化 ・振興計画の策定 ・振興計画に基づく取組の実施 ・振興計画の進捗状況の確認及び見直し ・商い甲子園の開催
							1 運営体制の強化 ・レストラン部門のスタッフ体制の見直し ・HACCPの取組開始 2 地域特産品を活用した加工品の開発・販売 ・レストランメニューの見直し ・地域特産品を活用した加工品の検討・開発	1 運営体制の強化 ・地域おこし協力隊2名による運営体制の検討開始 ・瓦版にて、出品者にHACCP対応に関する注意喚起を実施 2 地域特産品を活用した加工品の開発・販売 ・6次産業化サポートセンターのアドバイザー派遣（5回） ・レストランメニュー表・刺身調理案内板のリニューアル（7月） ・新メニュー5品の提供開始（7月） ・新商品（ぼんかん食パン）の販売開始 ・先進地視察（1月）	1.52億円 ・R3目標達成率：88.4% ・対前年比：112.6%	B	(成果) ・コロナの影響により、売上げは依然として、コロナ前の売上げには届かない状況ではあるが、運営体制の見直しや新事業の検討を行い、今後の売上げ改善に向けた準備を進めることができた。 (課題) ・看板商品がない ・ハイシーズンとなる夏季期間での販売強化 (今後の方向性) ・看板商品の検討 ・テイクアウト商品の検討		
3 誘客の促進 ・レストランメニューの見直し ・店内レイアウト等の変更 ・屋外飲食スペースの充実 ・SNS等を活用した情報発信	3 誘客の促進 ・新メニュー5品の提供開始（7月） ・レストランメニュー表・刺身調理案内板のリニューアル（7月） ・インスタグラムによる情報発信の強化 ・先進地視察（1月）	155,477人 ・R3目標達成率：85.0% ・対前年比：110.9%	B	(成果) ・コロナの影響により、入込数は依然として、コロナ前には届かない状況ではあるが、運営体制の見直しや新事業の検討を行い、今後の売上げ改善に向けた準備を進めることができた。 ・情報発信の強化により、インスタグラムのフォロワー増加 (課題) ・集客力のあるイベント等が開催できていない。 (今後の方向性) ・SNSによる情報発信の強化 ・生産者の顔が見えるような売り方（POP等） ・イベント、新サービスによる話題性づくり	185,000人	3 誘客の促進 ・マルシェの定期開催 ・屋外飲食スペースの拡充 ・バーベキューサービスの開始 ・地域産品の自社仕入れの本格化による、商品の充実 ・SNS等を活用した情報発信							

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】			
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画	
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析			
商業	14 地域食材を活用した奈半利町の特産品の開発および販路拡大 (奈半利町) 【実施主体】 ◎ (一社) なはりの郷 ◎ 奈半利町 ◎ 奈半利なんでも市加工グループ ◎ NCL48 ◎ JA高知県 (安芸地区)	JA加工施設(奈半利味噌)の売上高 677万円(H30)	775万円	723万円	816万円	912万円	1 地産外商の強化 ・商品開発及び磨き上げ ・商談会への出展 2 運営体制の強化 ・関係機関との協議の実施	1 地産外商の強化 2 運営体制の強化 ・関係機関との協議 (延べ5回)	787万円 ・R3目標達成率: 96.4% ・対前年比: 108.9%	B	(成果) ・コロナの影響もあり、人の動きが制限される中においても、目標達成率96.4%となった。 (課題) ・奈半利町役場との連携強化 (今後の方向性) ・引き続き、関係機関との協議も重ねながら目標達成に向けて取り組んでいく。	864万円	1 地産外商の強化 ・商品開発及び磨き上げ ・商談会への出展 2 運営体制の強化 ・関係機関との協議の実施	
			農水産加工施設の店舗売上高 800万円(R元見込)	935万円	1,256万円	850万円	900万円	1 地産外商の強化 ・商品開発及び磨き上げ ・商談会への出展 2 運営体制の強化 ・関係機関との協議の実施 ・HACCPの取得に向けた取組	1 地産外商の強化 ・とさのさとアグリコレットへの出品 ・物産館リニューアルイベントへの参加 ・高知空港ビルの直営店「ICHIBA」の催事コーナーでの販売開始 2 運営体制の強化 ・関係機関との協議 (延べ36回) ・会計ソフトの導入	1,436万円 ・R3目標達成率: 168.9% ・対前年比: 114.3%	S	(成果) ・3月7日から高知空港ビルの直営店「ICHIBA」の催事コーナーでの販売開始 (課題) ・店舗経営が忙しいなどの理由から、遠方の商談会への参加や新商品開発の取組などが難しい。 (今後の方向性) ・販路を増やすことで、売上増加を図る。	875万円	1 地産外商の強化 ・商品開発及び磨き上げ ・商談会への出展 2 運営体制の強化 ・関係機関との協議の実施 ・HACCPの取得に向けた取組
			集出荷センター取扱高 5.4億円(R元、7月～R2.6月見込)	5.1億円	0.45億円(R2.7月～R3.6月)	5.7億円	6億円(R5.7月～R6.6月)	1 地産外商の強化 ・特産品の販売促進 2 運営体制の強化 ・定例会の開催 ・理事会の開催 3 一次産業の振興 ・農作業受託事業の実施 ・不耕作地解消・農産物生産事業の実施 ・施設園芸事業の実施 ・農業部門会の実施	1 地産外商の強化 ・なはりの郷による通販サイトの運営 (売上高5,820千円) 2 運営体制の強化 ・なはりの郷定例会の開催 (延べ13回) ・なはりの郷臨時会の開催 (延べ2回) ・理事会の開催 ・産振アドバイザー派遣 (延べ5回) 3 一次産業の振興 ・農作業受託事業の実施 ・不耕作地解消・農産物生産事業の実施 ・施設園芸事業の実施 ・農業部門会の実施	0.79億円(R3.7月～R4.3月) ・R3目標達成率: 18.4% ・対前年比: 233.3% ※R3取扱高見込(1.05億円)に基づく推計値	D	(成果) ・ふるさと納税が停止した中での運営方法について、定例会や臨時会で協議しながら、改善を進めてきた。 (課題) ・ふるさと納税に依存しない事業運営体制の構築 (今後の方向性) ・経営改善の取組を継続しつつ、ふるさと納税の再開を見越したPR等を行っていく。	5.85億円	1 地産外商の強化 ・特産品の販売促進 2 運営体制の強化 ・定例会の開催 ・理事会の開催 3 一次産業の振興 ・農作業受託事業の実施 ・不耕作地解消・農産物生産事業の実施 ・施設園芸事業の実施 ・農業部門会の実施

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	15 田野町の完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用 (田野町) 【実施主体】 ◎田野町 民間事業者	体験施設 受入人数 269人 (H30)	421人	64人	560人	700人	1 製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 ・塩づくり体験・施設見学等の受入 ・集客のためのPR ・体験メニューのブラッシュアップ	1 製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 ・新型コロナウイルスの影響による休館（4月1日から7月31日まで） ・新型コロナウイルスの影響による休館延期（9月26日まで）	212人	・R3目標達成率：37.9% ・対前年比：331.3%	D (成果) ・長期の休館を余儀なくされたが、前年比では受入人数が増加 (課題) ・製塩行程にある塩に直接触れる塩作り体験メニューは、コロナ禍では実施が困難 (今後の方向性) ・塩作り体験、施設見学等の受入を増やすため、PR活動を強化する。	630人	1 製塩体験施設の運営体制の整備と誘客増 ・塩づくり体験・施設見学等の受入れ ・集客のためのPR ・体験メニューのブラッシュアップ
							2 新規就業者の育成・環境整備 ・研修生（塩職人）の育成・環境整備に関する検討 ・研修生（塩職人）の受入に関する検討 3 関連産業への波及 ・関連産業への波及についての検討	2 新規就業者の育成・環境整備 ・研修生独立後の利用施設の整備について検討 ・町は現在研修中の4名の育成及び町内起業を最優先とし、新規研修生の受入を中断することを決定 ・研修生退任及び任命式、販売開始イベントの実施（8月） 3 関連産業への波及 ・高知空港ビル直営店「ICHIBA」での販売（R4.3.7～R4.5.6） ・新商品（ミル用）の開発	4人(R2～R3累計)	A (成果) ・任期満了により退任した研修生の町内での独立 (課題) ・研修施設の数は限られているため、希望者がいたとしても無制限に受け入れることは出来ない。 ・まだ町内に安定的に流通させられる天日塩がない。 (今後の方向性) ・町内で流通させられる天日塩の確保・活用に向けた検討	2 新規就業者の育成・環境整備 ・研修生（塩職人）の育成・環境整備に関する検討 3 関連産業への波及 ・関連産業への波及についての検討		
商業	16 道の駅「田野駅屋」の機能強化に向けた取組 (田野町) 【実施主体】 ◎道の駅指定管理者（たの未来プロジェクト（株）） ◎田野町 加工施設指定管理者（中芸食材工房） 生産者組織 地域団体	年間店舗 売上高 2.7億円 (H30)	2.8億円	2.5億円	2.8億円	2.8億円	1 機能強化のための施設等整備 ・田野駅屋の機能強化に向けた施設整備等の検討 2 直販・飲食機能の強化 ・田野駅屋の取組についての情報共有 ・売上高の分析	1 機能強化のための施設等整備 ・田野駅屋の機能強化に向けた施設整備等の検討 2 直販・飲食機能の強化 ・現在の運営体制になった2019年4月以降、来場者数55万人達成（6月）	2.4億円	・R3目標達成率：85.7% ・対前年比：96.0%	B (成果) ・2019年4月以降、来場者数55万人を達成。 ・田野屋青蜂命名記念販売イベントを実施。 (課題) ・施設整備などのハード面での強化。	2.8億円	1 機能強化のための施設等整備 ・田野駅屋の機能強化に向けた施設整備等の検討 2 直販・飲食機能の強化 ・田野駅屋の取組についての情報共有 ・売上高の分析
		年間入込 数 278千人 (H30)	280千人	228千人	289千人	300千人	3 情報発信機能の強化・交流人口の拡大 ・積極的な情報発信 4 加工品の開発・販売の強化 ・新商品開発の検討	3 情報発信機能の強化・交流人口の拡大 ・中芸食材工房、中芸各町村、高知県東部観光協議会、地域本部が連携したGW期間中の臨時観光案内所の設置中止（5月） ・地産外商公社へ田野駅屋の野菜情報提供（延べ12回） ・第27回全国ハーブサミットIn中芸の地域会場の運営（10月） 4 加工品の開発・販売の強化 ・「田野屋青蜂」命名記念販売イベントの実施（8月）	232千人	・R3目標達成率：80.3% ・対前年比：106.9%	C (今後の方向性) ・周辺町村の情報を、販売商品のPRや町内イベントの広報と併せて田野駅屋HPIにて広報	295千人	3 情報発信機能の強化・交流人口の拡大 ・積極的な情報発信 4 加工品の開発・販売の強化 ・新商品開発の検討
商工業	18 地場産品直販所「かつば市」等による地域活性化 (芸西村) 【実施主体】 ◎(有)かつば市 大和リゾート(株) 芸西村 生産者グループ	かつば市 売上高 1.4億円 (H30)	1.4億円	1.4億円	1.5億円	1.5億円	1 魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み <かつば市> ・新規商品の取り扱いの開拓 ・回遊性のある店舗づくり ・地域情報の発信の拡充 <ロイヤルホテル土佐> ・白玉糖を活用した商品の開発 ・HACCPに対応した製糖所と体験コーナーの設置検討	1 魅力ある店舗づくりと顧客獲得の取り組み <かつば市> ・6次産業化サポートセンターによる戦略会議4回（6/15、7/1、7/14、2/22） 経営戦略の検討、レイアウト変更、POPづくり ・バーベキュー事業開始（10/26 予約開始） <ロイヤルホテル土佐> ・ショップのリニューアルとカフェの設置（R3.5）	1.5億円(153,703千円)	・R3目標達成率：102.5% ・対前年比：108.8%	A (成果) <かつば市> ・6次産業化サポートセンターによるアドバイスにより経営状況の確認やレイアウト変更により売上アップにつながった。 ・新規顧客確保のためのバーベキュー事業の開始。 <ロイヤルホテル土佐> ・ショップのリニューアルによる魅力ある店舗の構築。 ・白玉糖を活用した新たな商品の開発。 (課題) ・バーベキュー事業の周知。 ・教育旅行を確保するための体験施設の整備。 (今後の方向性) ・引き続きかつば市やロイヤルホテル土佐による地域産品の販路拡大と顧客の確保に取り組む。	1.5億円	1 魅力ある店舗づくりと顧客確保の取り組み <かつば市> ・顧客から要望の多い商品の取り扱いを検討 ・バーベキュー事業のブラッシュアップ <ロイヤルホテル土佐> ・県外からの誘客に向けたニーズの把握と旅行商品の企画 2 新商品の企画・開発及び外商活動 <かつば市> ・地域の事業者による食材の掘り起こし <ロイヤルホテル土佐> ・ECサイトを活用した地域産品の販路拡大

分野	【P (Plan)】					【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	19 安芸地域の観光振興の推進 (安芸地域全域) 【実施主体】 ◎(一社)高知県東部観光協議会 安芸広域市町村圏事務組合 市町村 観光協会等 地域団体 民間事業者	圏内主要施設訪問者数 (1~12月) 2,454,671人 (H30)	2,495,024人	1,846,874人	2,547,996人	2,606,000人	1 東部観光協議会の組織体制の強化と関係団体との連携 ・理事会、総会の開催 ・滞在型観光プラン整備計画の作成と実践を通じた人材育成 ・事務局スタッフの研修 ・広域観光振興計画策定に向けた策定委員会(仮称)開催、計画策定 ・マーケティングデータ収集・分析・フィードバック ・高知東部食プロジェクト、日本遺産等の取組支援 2 戦略的な広報・PR活動の展開 ・HP、SNS、動画での情報発信 ・Web、SNS等を活用したプロモーション ・TV、雑誌、新聞等を活用したプロモーション ・ガイドブック等を活用した発着地でのPR ・四国DCキャンペーンと連動したPR ・ツーリズムEXPO2021等県外イベントへの出席 3 着地型商品の造成・販売 ・体験プログラム等観光コンテンツの開発・磨き上げ支援 ・広域の「食」開発に向けた検討 ・観光商談会等への参加及び旅行会社へのセールス活動 ・旅行会社によるツアー造成促進のための助成 ・土佐の観光創生塾と連携した観光商品づくり支援 4 教育旅行の受入体制の強化、スポーツツーリズムの推進及びインバウンド対策の実施 ・教育旅行担当者会の実施 ・教育旅行受入 ・旅行会社へのセールス活動 ・教育旅行受入研修、先進地視察等の実施、全国版研修会参加 ・サイクリングを活用した周遊プラン・旅行商品等の構築支援 ・安芸・室戸バンフィックライドの開催 ・多言語版ホームページを活用した情報発信 ・外国人対応研修等に関する情報提供 ・インバウンド向け旅行商品等の磨き上げ ・県や観光コンベンション協会と連携したインバウンド向けの情報発信	1 東部観光協議会の組織体制の強化と関係団体との連携 ・理事会の開催(6回 内書面決議3回) 総会の開催(2回) ・滞在型観光プラン整備計画の推進(観光地域づくり塾(県事業)への参画) 観光地域づくり塾全体報告会等:2回 事業者等との協議:10回 モニターツアー:1回 ・事務局スタッフ研修 デジタルマーケティング(3日間) SNS情報発信(2日間) ・高知県東部広域観光振興計画策定ワーキンググループ会議の開催(4回)、同計画(第2期)策定(3/29) ・観光地域づくり法人による宿泊施設等と連携したデータ収集・分析事業(観光庁実証事業)の推進 事業者説明会(4回) CRMアプリ検討座談会等(5回) 宿泊データ分析システムによるデータ収集(9月~、宿泊7事業者参画) CRMアプリ配信・データ収集(3月~、30事業者参画) ひがしこうち地域戦略会議(2回、事業者等7名で構成) ・入込数調査、WEBアンケート調査、宿泊データ分析システムによるデータ収集 入込数調査:98施設 WEBアンケート調査:22施設 分析システム:7事業者 ・調査協力施設へのフィードバック、理事会・総会での各調査結果報告 ・ホームページアクセス分析(4半期1回) ・高知東部食プロジェクト 検討会(3回)、「おらんくの自慢の一品」パンフレット作成・ハッシュタグキャンペーン(2/1~5/31)実施 ・日本遺産関連の取組支援 会議等への参加(46回)、関連イベントの開催支援(全国ハーブサミットin中芸・中芸ハーブフェスティバル、ゆずFeS) 2 戦略的な広報・PR活動の展開 ・公式Instagram投稿ルール整理・アカウント改善 ・YouTube広告、SNS広告の実施(2回) ・高知龍馬空港への電子看板広告掲出(通年) ・テレビ番組内紹介・CM提供等(4回) ・西日本主要サービスエリアでのパンフレット配架(豊浜SA®:10ヶ月間、淡路SA®:3ヶ月間) ・ガイドブック「ひがしこうち」改訂増刷(2回) ・エリア別パンフレット「ひがしこうちmine」改訂増刷(4回) ・フリーペーパー「旅たび高知」特集記事広告掲載(3ヶ月間) ・別冊 旅の手帖(四国DC特別号)広告掲載 ・観光列車「志国土佐 時代の夜明けのものがたり」四国DCごめん・なはり線特別運行に係るおもてなし等実施(10月~12月) お手ぶり・お出迎え等(運行日全日程:13回) 市町村PR等費用助成(上限10万円/7市町村に交付) ・大丸須磨店高知フェアイベント物販PR出展(7月1日間) ・「NAKED FLOWERS-高知城-」PRブース出展(1月2日間) 3 着地型商品の造成・販売 ・体験プログラム実施事業者への助成(9件) ・土佐の観光創生塾への参加 受講呼びかけ協力、講義受講(全4回:2日間)、東部地域受講生の商品造成支援等 ・ひがしこうち「食」の開発事業の実施 参画事業者募集、企画会議・ワークショップ(5回)、お披露目会(1回)、パンフレット等PRツール作成 ・観光庁「既存観光拠点の再生・高付加価値化推進事業」モニターツアー開催支援(コース提案・調整・モニター参加等) ・旅行会社等へのセールス活動(商談会等/関東2回、関西2回、高知1回 訪問セールス/東北3社) ・旅行会社への助成(貸切バス:一般9件・教育6件、観光列車商品造成2件、視察:1件)	1,834,948人 ・R3目標達成率:72.0% ・対前年比:99.4% ・対前々年比:73.5% ※R4~第2期高知県東部広域観光振興計画に基づき指標項目及び指標数値を変更したため、R4線表とは数値が異なる。(R4線表は新たな指標項目・数値に基づいて積算した実績値)	C ・インバウンド対策については、交通情報のデータ整備や商品造成に向けた取組など受入体制づくりが進んだ。 (課題) ・市町村や観光協会、関係団体等との相互の情報共有等連携不足 ・マーケティングデータ分析、地域へのフィードバックが不十分 ・戦略的な情報発信の不足 ・ニーズやターゲットを意識した商品造成や、消費拡大につながる域内での周遊・滞在型観光を促進する取組が不十分 ・教育旅行以外でのコロナ禍に対応した取組の不足 (今後の方向性) ・新たな計画について地域全体でPDCAを回す仕組みづくり ・四半期に1回を基本とした定期的なマーケティングデータの分析、会議等での地域へのフィードバック ・各種マーケティングデータやHP、SNSアクセス分析等のPRへの活用 ・県等の取組と連動した情報発信 ・新たな計画において設定したターゲットに向けた商品造成の検討 ・土佐の観光創生塾、観光地域づくり塾等と、より主体的に連携した商品造成等の取組実施 ・コロナ禍の影響による集客回復に向けた取組実施	2,573,476人 【参考】 R4~の指標によるR4目標 (観光入込客数) 2,181,964人 (※R4~第2期高知県東部広域観光振興計画に基づき指標項目及び指標数値を変更)	1 ひがしこうち魅力創出の推進 2 効果的な情報発信とセールスの強化 3 下支える基盤の推進 取組内容は下記のとおり ■高知県東部広域観光振興計画(第2期)の推進 ・ワーキンググループ会議(仮称)の開催 各市町村担当課長等での構成予定 計画(第2期)の進捗確認・対策検討等 ・計画全体のKPI及び各戦術に対するKPI(事業と連動するKPI)のモニタリング(四半期1回) ■マーケティング ・データ収集システムの運用、収集数を増やす取組 ・専門家のアドバイス等も活用した定期的なデータ分析、地域内へのフィードバック ・主要事業者等による地域戦略会議の開催 データを基にした打ち手の検討(四半期1回) ■旅行商品等の造成 ・県の「食」を主としたキャンペーン等と連携した「香香柚子グルメリ」のプロモーション ・「香香柚子グルメリ」の効果検証(売上等)、参加飲食店の追加や新たなメニュー開発等磨き上げ ・滞在型観光プラン整備計画の推進 コンテンツ造成企画提案、造成に向けた支援 ・土佐の観光創生塾等県事業と連携したコンテンツ造成、同コンテンツと観光・宿泊施設、交通等を組み合わせた周遊促進商品の検討 ■情報発信 ・HPやSNSの定期的なアクセス分析 ・県の観光情報サイト(よさこいネット、リョーマの休日キャンペーンサイト、VISIT KOCHI JAPAN等)等と連携したPR ・誘客促進クーポンキャンペーンの実施 ■教育旅行 ・学校のニーズに即した商品造成の検討 ・新たに制作した動画・素材集等を活用した継続的なセールス活動 ■インバウンド ・アドベンチャーツーリズム商品造成に向けたコンテンツの磨き上げ、コースの見直し等 ・Googleビジネスプロフィール活用促進検討	

分野	【P (Plan)】					【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
	圏内宿泊者数 (1~12月) 142,741人 (H30)		145,647人	88,124人	147,762人	150,000人		<p>4 教育旅行の受入体制の強化、スポーツツーリズムの推進及びインバウンド対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9市町村教育旅行担当者会 (2回) ・高知県教育旅行誘致連絡会 出席 (6回) ・民泊受入家庭調査 (5~6月) ・教育旅行受入 <ul style="list-style-type: none"> 小学校1校 (山陽) :15名、中学校8校 (関西・山陽) :969名、高校5校 (関西・山陽・県内) :440名 ・旅行会社へのセールス活動 (訪問セールス (高知県と同行) :関西12社,中国7社,関東34社 商談会:関東1回) ・体験事業者向け研修会等の実施及び参加 (3回) ・教育旅行セールスツール (体験動画、素材集) 作成 ・安芸・室戸バシフィックライド実行委員会 (2回 書面決議) ・JCL (ジャパン サイクル リーグ) との連携についての協議 (2回) ・公共交通情報のデータ整備・情報発信の強化(オープンデータ化) 観光庁 R3観光振興事業費補助金による専門人材の登用によりデータ整備 (専門分野:外国人旅行者が快適かつ安全に周遊・滞在できる受入環境の整備) ・訪日グローバルキャンペーン等に対応したコンテンツ造成事業報告会参加 (1回) ・香港ブックフェア オンライン中継によるPR (1回) ・クルーズ客船オプションツアー商談会 (1回) ・高知県アドベンチャーツーリズム推進事業 モニターツアー等協力参加 (1回) ・四国運輸局 四国アドベンチャーツーリズムセミナー参加 (1回) ・中芸地域アドベンチャーツーリズム商品 モニター実施 (1回) 	77,668人	D		148,796人	
								<ul style="list-style-type: none"> ・R3目標達成率: 52.6% ・対前年比: 88.1% ・対前々年比: 53.3% 			<p>【参考】 R4~の指標によるR4目標 (圏内宿泊者数) 154,542人 (※R4~第2期高知県東部広域観光振興計画に基づき指標項目及び指標数値を変更したため、R4線表とは数値が異なる。 (R4線表は新たな指標項目・数値に基づいて積算した実績値)</p>		

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	20 日本遺産を活用した中芸地域の活性化 (奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村) 【実施主体】 ◎中芸のゆずと森林鉄道日本遺産協議会 奈半利町 田野町 安田町 北川村 馬路村 中芸地区森林鉄道遺産を保存・活用する会	中芸地域主要施設訪問者数 537,560人 (H30)	539,718人	437,812人	540,000人	550,000人	1 日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大 ・戦略会議等による自走に向けた方向性(戦略)の検討 ・日本遺産協議会中期事業計画書(仮)の策定 ・日本遺産ガイド養成講座の実施 ・「ゆずフェス」の開催 ・全国ハーフサミットin中芸開催 ・ゆず狩り体験ツアーの開催 ・ゆず林鉄EXPO2022開催 ・拠点施設に関する検討 2 森林鉄道施設の保存策の検討 ・重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存管理活用推進委員会における保存策の検討	1 日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大 ・戦略会議の開催(1回) ・日本遺産ガイド養成講座開始(全5回、ガイド登録10人) ・「ゆずフェス」開催(18プログラム337名参加) ・「全国ハーフサミットin中芸」開催(オンライン併用開催) (地域ステーション6,491人、動画視聴者数2,965人) ・ゆず収穫体験モニターツアーの実施(1回17名) ・日本遺産関連ツアーの実施(12回152人) ・ゆず林鉄EXPO2022の開催(来場者数1,600人(推計)) ・拠点施設整備に関するWGの開催(1回)	478,128人 ・R3目標達成率：88.5% ・対前年比：109.2%	B (成果) ・コロナの影響により計画変更を強いられたものの、日本遺産関連ツアーの実施や、過去最高の集客となったゆずフェスの開催、ゆず林鉄EXPOのオーペビア初開催など、少しずつPRの強化が図られている。 ・ガイド養成講座の開催により受入体制の充実も徐々に進んできた。 (課題) ・事務局体制の強化 ・イベントのブラッシュアップとPRの強化 ・受入体制の強化 (今後の方向性) ・再認定に向けた次期地域活性化計画の策定 ・訴求力あるイベントの実施及び情報発信の強化 ・ツアー商品の開発及びガイド育成による受入体制強化	540,000人	1 日本遺産を活用した地域の活性化及び交流人口の拡大 ・次期地域活性化計画の策定 ・戦略会議等による自走に向けた方向性(戦略)の検討 ・日本遺産ガイド養成講座の実施 ・「ゆずフェス」の開催 ・ゆず収穫体験ツアーの開催 ・ゆず林鉄EXPO2023開催 ・拠点施設に関する検討 2 森林鉄道施設の保存策の検討 ・重要文化財旧魚梁瀬森林鉄道施設保存管理活用推進委員会における保存策の検討	
													1 周遊型・滞在型観光の強化 ・周遊企画の実施
観光	21 室戸市の観光資源を生かした交流人口の拡大・地域振興 (室戸市) 【実施主体】 ◎室戸市 ◎ (一社) 室戸市観光協会 室戸ジオパーク推進協議会 (株) 日本ドルフィンセンター (一社) うみ路 NPO法人日本ウミガメ協議会 土佐備長炭窯元炭玄 民間事業者	室戸市主要施設訪問者数 805千人 (H30)	812千人	506千人	820千人	850千人	2 誘客促進(室戸世界ジオパーク) ・企画展・イベントの開催、既存ツアーの磨き上げ、新ツアーの造成、教育旅行受入	2 誘客促進(室戸世界ジオパーク) ・ジオパーク推進協議会の実施(6/10) ・室戸世界ジオパークセンターの展示リニューアル、企画の実施 ・室戸市産の商品のジオパーク推進協議会ECサイトでの販売拡充 ・室戸ジオパーク活動推進チーム全体会の開催(10/28) ・住民参画のジオばた会議の開催 ・フォトコンテスト、記念切手の発行 ・ガイド養成講座の実施(7/5～7/11、11/6)	55,065人 ・R3目標達成率：61.2% ・対前年比：132.1%	D (成果) ・住民が参画するジオばた会議やジオパーク活動推進チーム会の開催 ・新たな企画フォトコンテストの実施 (課題) ・ジオパークに関心をもつ人材を確保するため、ジオパークのビジネス化が必要 ・展示のリニューアルによる室戸世界ジオパークセンターの魅力化 (今後の方向性) ・ジオパークや地域の魅力を発信するためのECサイトの充実	90,000人	2 誘客促進(室戸世界ジオパーク) ・ジオパーク関連の地域おこし協力隊1名を募集 ・ジオパーク国内審査(審査前の準備、審査後の指摘)への対応 ・室戸世界ジオパークセンターでの企画の実施	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び 出発点	R元 実績	R2 実績	R3 到達 目標	4年後 (R5) 目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4 到達 目標	R4年度計画
									R3到達目標 に対する現状	達成度 (※)	現状分析		
	室戸ドルフィンセンター 来場者数 27,693人 (H30)		26,650 人	15,652 人	30,000 人	30,000 人	2 誘客促進 (海の駅とろむ) ・体験プログラムの造成、既存プログラムの 磨き上げ、PRの強化 ・ポンツーン、海上アスレチック、キッチンカー 等の導入	2 誘客促進 (海の駅とろむ) (室戸ドルフィンセンター) ・SNSを活用した情報発信の実施 ・高知県観光施設等緊急整備事業補助金を活用したキッチントレーラー、海 上アスレチック、ポンツーンの整備 ・DMVの発着にあわせたイベントの実施 (12/26)	13,024人 ・R3目標達成率：43.4% ・対前年比：83.2%	D	(成果) ・高知県観光補助金活用による整備が完了し、新たな プログラムの造成や観光客への飲食提供などが可能と なった。 ・飲食事業者、宿泊事業者、観光施設などの他事業 者との連携が行えた。 (課題) ・レストランがばつま八、直販所鯨浜の閉店に伴うエリア の魅力の減少 ・天候不良や秋以降の来場者数の減少 (今後の方向性) ・新たな体験メニューづくり、キッチントレーラーのメニュー開 発による誘客促進	30,000人	2 誘客促進 (海の駅とろむ) ・地元食材を用いたキッチントレーラー提供メニュー の検討、確定後のGW頃の提供開始 ・企画「4.19 (飼育の日) リアルトレーナー体験」 実施 (4/17) ・体験プログラムの磨き上げ ・飲食、観光、宿泊施設との連携 ・ちばつま八「レストラン」を市改修整備 (～6月) ・夏期長期休暇にあわせた体験プログラム (バナ ナポート、海上アスレチック) による誘客の推進
	むろと廃校 水族館来 館者数 168,333 人 (H30)		150,210 人	68,776 人	135,000 人	121,200 人	2 誘客促進 (むろと廃校水族館) ・体験プログラムの磨き上げ、開発、PR強 化	2 誘客促進 (むろと廃校水族館) ・Twitter活用による情報発信 ・「あなたのシイラない魚介」(7/10～9/30) の実施 ・「Marineキャンプ水族館に泊まろう」の実施 (12/26～27) ・「イルミネーション企画」の実施 (12/27～1/9)	72,414人 ・R3目標達成率：53.6% ・対前年比：105.3%	D	(成果) ・地場産魚を活用した食企画の実施により、むろと廃校 水族館ならびに東部地域の飲食事業者への経済的な 波及効果をもたらした (課題) ・屋外大水槽の取水機能の安定化 (今後の方向性) ・体験メニューづくりによる誘客促進	135,000人	2 誘客促進 (むろと廃校水族館) ・Twitterを活用した情報発信の継続 ・地場産魚の旬にあわせた食企画の実施 (シイ ラ、サバなど) ・体験プログラムの造成
	MUROTO base55 (旧ライ ダーズイン 室戸) 利 用者数 (H30) - R2.2.27 オープン		128人	1,785人	5,656人	6,000人	2 誘客促進 (MUROTObase55) ・運営・広報・営業力の強化、周辺施設と 連携した誘客の促進	2 誘客促進 (MUROTObase55) ・SNS活用による情報発信 ・周辺施設・市内事業者、土佐くろしお鉄道と連携した企画の実施 ・高知県観光施設等緊急整備事業補助金を活用した屋外風呂等の整備	3,413人 ・R3目標達成率：60.3% ・対前年比：191.2%	D	(成果) ・新たに室戸市内外の事業者と連携した企画を行うこと ができた。 ・県観光補助金を活用した天体観測機器、サイクリング によるアクティビティ機能の強化および屋外風呂等の整 備による施設機能の充実化 (課題) ・コロナ禍における対応 (今後の方向性) ・新たに整備したアクティビティや屋外風呂による機能充 実の積極的なPR ・地域事業者と連携した体験メニューづくり	5,656人	2 誘客促進 (MUROTObase55) ・ツイッター、Instagramでの情報発信 ・市内事業者と連携した取組の実施 ・備長炭アクセサリーづくり、藍バンづくり、藍染マス づくり体験などの実施

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	22 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進 (安芸市) 【実施主体】 ◎安芸市 ○(一社)安芸市観光協会 安芸漁協 伊尾木あなごう保存会 内原野陶芸館 JA高知県(安芸地区) 安芸市観光ボランティアガイドの会 廓中ふるさと館 メリーガーデン はたやま夢楽 安芸「釜あげちりめん丼」楽会 道の駅大山 安芸商工会議所 「はばたけ彌太郎」安芸市推進委員会	市内年間観光客数 278,442人 (H30)	254,496人	129,012人	260,000人	300,000人	1 岩崎弥太郎を生かした安芸市観光の活性化 ・岩崎弥太郎源流の地フォーラムの開催(11月) ・岩崎開きの説明板設置(11月) ・安芸駅ちばさん市場で「岩崎家ゆかりの地フェア」を開催(12月) 2 観光資源の魅力向上 ・伊尾木観光案内所周辺での観光客向け地場産品の試行販売(5月～) ・安芸広域公園においてバーベキュー利用(火気使用)の試行を実施(7月～9月) ・安芸広域公園の活用を想定したバーベキュー事業の実施について、観光協会に提案(10月) ・道の駅大山の改修と周辺の観光振興に向けた再整備について検討(1月～) ・手づくり登り窯フェスタの令和4年度の開催について検討(1月～)	128,510人 ・R3目標達成率：49.4% ・対前年比：99.6%	D	(成果) ・岩崎開き説明板設置と併せて既存観光マップへ追加 ・安芸広域公園のバーベキュー利用者数把握 (課題) ・弥太郎を生かした取組の促進 ・伊尾木観光案内所周辺での試行販売の売上伸び悩み ・安芸広域公園のバーベキュー利用者数が少ない (今後の方向性) ・三菱商事との連携強化 ・伊尾木試行販売への継続支援 ・バーベキュー事業の実施について検討 ・道の駅大山関係の支援(補助金活用等)	260,000人	1 岩崎弥太郎を生かした安芸市観光の活性化 ・観光情報センターを拠点とした市内周遊の推進(NHKテレビ小説を生かした取組) 2 観光資源の魅力向上 ・道の駅大山周辺の観光振興に向けた取組実施 ・手づくり登り窯フェスタ開催 ・安芸駅ちばさん市場レイアウト変更 ・NHKテレビ小説を生かした取組検討	
		市内年間宿泊者数 25,726人 (H30)	25,062人	20,481人	25,900人	26,500人	21,349人 ・R3目標達成率：82.4% ・対前年比：104.2%	B		(成果) ・ちばさん市場の改善策(リニューアル内容)が決定 ・ちりめん丼楽会制作のPR動画完成(じゃこ観光、じゃこのみの2種類でそれぞれ長尺・短尺あり) (課題) ・ナスを生かした誘客の推進 (今後の方向性) ・ちりめん丼楽会のイベント出店等PR活動への継続支援 ・ナスを生かした企画の検討		47,000食	1 地域食材等を活用した誘客の推進 ・安芸「釜あげちりめん丼」楽会による飲食イベントへの出店等PR活動の実施 ・消費拡大委員会ホームページでのナス料理提供店の紹介 2 ちりめん丼販売食数 46,872食 (H30)
		ちりめん丼販売食数 46,872食 (H30)	46,736食	26,522食	47,000食	50,000食	1 地域食材等を活用した誘客の推進 ・ちりめん丼楽会が「れきみんの日」イベントに出店(5月) ・ちりめん丼楽会が「土佐の食1グランプリ」に出店(3月) ・産業振興アドバイザー(課題解決型)の活用による安芸駅ちばさん市場の課題の洗い出しと対策案の検討(5回) ・ちりめん丼楽会による観光列車のお出迎え(10月～) ・ちりめん丼楽会によるPR動画の制作	30,969食(見込) ・R3目標達成率：65.9% ・対前年比：116.8%	D	(成果) ・ちばさん市場の改善策(リニューアル内容)が決定 ・ちりめん丼楽会制作のPR動画完成(じゃこ観光、じゃこのみの2種類でそれぞれ長尺・短尺あり) (課題) ・ナスを生かした誘客の推進 (今後の方向性) ・ちりめん丼楽会のイベント出店等PR活動への継続支援 ・ナスを生かした企画の検討	47,000食		1 地域食材等を活用した誘客の推進 ・ちりめん丼楽会によるイベントへの出店等PR活動の実施 ・ナス料理等提供店と連携したスタンプラリーの開催 ・道の駅大山の改修後に提供する地元食材を活用したメニューの開発

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】		【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】	
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	23 東洋町における体験型・滞在型観光の推進 (室戸市、東洋町) 【実施主体】 ◎ (一社)東洋町観光振興協会 ◎ 東洋町 地元マリンスポーツ等関係事業者 宿泊事業者 阿佐海岸鉄道(株) 東洋町商工会 NPO法人ウォータース・リバイタルプロジェクト (一社)高知県東部観光協議会 室戸市	体験者数 465人 (H30) 東洋町主要施設訪問者数 231,780人 (H30)	3,162人 258,497人	2,969人 206,830人	3,500人 246,000人	5,000人 250,000人	1 受け入れ体制の強化 ・既存体験プログラムの見直し・磨き上げ ・新規体験プログラムの造成 ・ビーチホッピングの開催(7月～8月末) 2 DMVを活用した観光振興 ・レンタサイクルの整備 ・本格営業運行開始にむけた取り組み 3 野根川を活用した観光振興 ・南四国アイランド活性化協議会への参画 ・野根川オートキャンプ場の整備	1 受け入れ体制の強化 ・海上アスレチックの開催(R3よりジャンボスライダー導入) ・シェアサイクルサービス「PiPPA」導入 ・白浜海水浴場におけるサーフィンスクールの実施 ・サーフスケートパークの運営開始 ・東洋町観光振興協会ホームページリニューアル準備開始 2 DMVを活用した観光振興 ・シェアサイクルサービス「PiPPA」の導入 ・DMV試乗会(12月) ・DMVキャラバン(12/6、12/7) 3 野根川を活用した観光振興 ・サン・ジャン・ピエ・ド・ポー市とのリモート交流(5/17) ・南四国地域のPRのため、YouTuber(3名)による撮影(11月) ・野根川オートキャンプ場の整備完了(1月末) ・R4.4のオープンに向けて準備開始	2,579人 ・R3目標達成率:73.7% ・対前年比:86.9%	C (成果) ・ビーチホッピングの認知度向上 ・ビーチホッピング以外のコンテンツの実施・検討 (課題) ・シェアサイクルサービスの稼働率の改善 ・夏期以外の時期の受入れ体制の整備 (今後の方向性) ・ホームページ、SNS等を活用したPRの強化 ・新事業による、新たな客層の獲得	4,000人	1 受け入れ体制の強化 ・既存体験プログラムの見直し・磨き上げ ・新規体験プログラムの造成 ・地域おこし協力隊の観光創生塾の受講 ・ビーチホッピングの開催 ・清流の里野根川オートキャンプ場オープン 2 DMVを活用した観光振興 ・受け入れ体制の強化にむけた勉強会の開催 ・シェアサイクルサービスPiPPAの活用促進 ・甲浦駅の活用検討 3 野根川を活用した観光振興 ・清流の里野根川オートキャンプ場オープン ・清流の里野根川オートキャンプ場集客に向けた広報活動 ・SNS等を活用したPR	
							238,763人 ・R3目標達成率:97.1% ・対前年比:115.4%	B	248,000人				
観光	24 奈半利町の観光施設の誘客強化による交流人口の拡大 (奈半利町) 【実施主体】 ◎ (一社)なはりの郷 ◎ 奈半利町 藤村製糸(株)	記念館来館者数 (1月～12月) 1,000人 (H30) 海浜センター利用客数 562人 (H30)	1,013人 567人	626人 361人	1,250人 1,284人	1,500人 2,000人	1 藤村製糸記念館の活用拡大 ・町並みガイド等での活用拡大 ・なはり浦の会との連携 ・記念館を活用したイベントの開催(9月)	1 藤村製糸記念館の活用拡大 ・令和3年度の古民家ART&LIVEの開催を決定(6月) ・新型コロナウイルスの感染拡大により、古民家ART&LIVEの中止が決定(9月)	411人 ・R3目標達成率:32.9% ・対前年比:65.7%	D (成果) ・令和3年度の古民家ART&LIVEの開催を決定した(9月コロナの影響により中止) (課題) ・交流人口の拡大につながる施設の活用 (今後の方向性) ・なはり浦の会との連携強化 ・記念館を活用したイベントの開催	1,375人	1 藤村製糸記念館の活用拡大 ・町並みガイド等での活用拡大 ・なはり浦の会との連携 ・記念館を活用したイベントの開催(9月)	
							2 海浜センターの機能強化、体験型観光の推進 ・産振アドバイザー派遣(延べ4回) ・地域観光振興交付金の活用によるキャンプサイトの整備等の実施 ・アクティビティガイド募集開始(HP)(8月) ・サンゴ船ナイトクルーズのモニターツアー実施(9月) ・奈半利町観光基本計画策定による説明会の実施(9月) ・マリンアクティビティに関する勉強会実施、なはり町観光戦略推進会議の実施(延べ2回)、フォトガイド育成研修、サンセットクルーズ試乗会の実施(12月) ・なはり町観光戦略推進会議の実施(1月) ・キャンプサイトモニターツアー実施(2月) ・ウォーキングバイシクル試乗会の実施(3月)	2 海浜センターの機能強化、体験型観光の推進 ・産振アドバイザー派遣(延べ4回) ・地域観光振興交付金の活用によるキャンプサイトの整備等の実施 ・アクティビティガイド募集開始(HP)(8月) ・サンゴ船ナイトクルーズのモニターツアー実施(9月) ・奈半利町観光基本計画策定による説明会の実施(9月) ・マリンアクティビティに関する勉強会実施、なはり町観光戦略推進会議の実施(延べ2回)、フォトガイド育成研修、サンセットクルーズ試乗会の実施(12月) ・なはり町観光戦略推進会議の実施(1月) ・キャンプサイトモニターツアー実施(2月) ・ウォーキングバイシクル試乗会の実施(3月)	376人 ・R3目標達成率:29.3% ・対前年比:104.2%				D (成果) ・教育旅行の受け入れにより、利用者が前年を上回った。 (課題) ・アクティビティのガイドについてのマニュアル化 ・修学旅行等の大人数受入の際の安全管理 ・施設整備後の情報発信 (今後の方向性) ・関係業者と連携し、施設整備後の情報発信を強化する。
観光	25 安田川アユおどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化 (安田町) 【実施主体】 ◎ 安田町	キャンプ場利用者数 2,527人 (H30)	3,201人 53人	4,000人 53人	4,000人 4,000人	6,000人 6,000人	1 キャンプ場の再整備による磨き上げ ・リニューアルオープン ・HP及びパンフレットの刷新 ・キャンプサイト景観舗装工事の実施 2 利用者数アップに向けた仕組みづくり ・リニューアルオープン記念イベントの実施 ・定期的なイベントの企画及び実施 ・SNS等を活用したPR活動 ・周辺施設との連携実施 ・地域食材の提供	1 キャンプ場の再整備による磨き上げ ・(有)ダイエースオピニオンが指定管理者に決定(4/1) ・リニューアルオープン、記念イベントの実施(4/24) ・さんしんGo!にて取り組み紹介(5/16) 2 利用者数アップに向けた仕組みづくり ・コールマンパートナーシップフィールドイベント第1弾実施(6/19、20) ・味工房じねんとの連携協議(6月) ・日本遺産「ゆずフェス」でのイベント実施(11/27、28 BBQ講座:22名参加) ・Xmasイベントの開催(12/18)	7,111人 ・R3目標達成率:177.8% ・対前年同期比:222.1% ※R3年度は4/24から利用開始。 R2年度は4/20から閉鎖したためR元年度と比較。	S (成果) ・コロナ禍でのキャンプブームの追い風と、リニューアルオープンのために利用客数が大幅に増加した。 ・クリスマスイベントの実施などにより、これまでの課題であった冬期の利用者数の増加が図れた。 (課題) ・顧客満足度の向上 ・周辺施設等との連携強化 (今後の方向性) ・定期的な魅力あるイベントの実施 ・周辺観光施設等との連携による相互誘客の仕組みづくりの検討 ・周辺施設等との連携による地域経済の活性化	5,000人	1 キャンプ場の再整備による磨き上げ ・新規サービスの検討 ・スタッフの人材育成 2 利用者数アップに向けた仕組みづくり ・定期的なイベントの企画及び実施 ・SNS等を活用したPR活動 ・周辺施設との連携実施 ・地域食材の提供	

分野	【P (Plan)】						【D (Do)】	【C (Check)】・【A (Action)】			R4【P (Plan)】		
	項目名及び実施主体	指標及び出発点	R元実績	R2実績	R3到達目標	4年後(R5)目標値	R3年度計画	R3取組状況	現時点の進捗状況			R4到達目標	R4年度計画
									R3到達目標に対する現状	達成度(※)	現状分析		
観光	No.26 北川村観光3施設の誘客強化による交流人口の拡大 (北川村) 【実施主体】 ◎(株)きたがわジャルダン ◎北川村 川村観光協会 北川村中部地区集落活動協議会 NPO 法人中岡慎太郎先生顕彰会	各施設入園(館)者合計数(4~3月) 94,350人(H30)	98,585人	70,594人	103,000人	108,000人	1 村外に向けた観光情報等の発信強化 ・SNSやマスコミ等を活用した情報発信 2 3施設及び関係機関との連携強化と各施設の磨き上げ ・3施設間や周辺地域への周遊の仕組みづくり 3 集客に向けた取り組みの強化 ・体験プログラムの造成及び磨き上げ	1 村外に向けた観光情報等の発信強化 ・ホームページやSNSでの定期的な村内の観光情報発信 ・マスコミ(FM高知等)や雑誌を通じた広報 ・北川村ゆず新聞の発行(7月、11月、3月) ・モネの庭の庭師である川上裕氏がテレビ番組「情熱大陸」出演(9/26) 2 3施設及び関係機関との連携強化と各施設の磨き上げ ・各施設での企画展・イベント開催 ・きたがわ村慎太郎バスポート企画の実施 3 集客に向けた取り組みの強化 ・北川村観光協会主催による田舎寿司伝承勉強会の開催(7/21) ・地域観光課主催アドベンチャー・ツーリズムモニターツアーの受け入れ及び意見交換会への参加(1/24)	83,868人 ・R3目標達成率: 81.4% ・対前年比: 118.8%	C	(成果) ・全国的な旅行需要の回復や、モネの庭を中心に全国メディアでとり挙げられることも増え、コロナ禍で落ち込んでいた各施設の客数も回復の兆しが見受けられた。 (課題) ・各施設間での連携(まとめ役の不在) ・北川村観光協会のマンパワー不足(2名体制) (今後の方向性) ・コロナウイルス感染症の状況を見つつ、新たな生活様式に対応したイベント・企画展の開催	106,000人	1 村外に向けた観光情報等の発信強化 ・SNSやマスコミ等を活用した情報発信 2 3施設及び関係機関との連携強化と各施設の磨き上げ ・3施設間や周辺地域への周遊の仕組みづくり 3 集客に向けた取り組みの強化 ・体験プログラムの造成及び磨き上げ ・NHKテレビ小説に関連した取組の検討
その他	29 集落活動センターやなせを拠点とした馬路村魚梁瀬地区の活性化 (馬路村) 【実施主体】 ◎集落活動センターやなせ運営協議会 馬路村	観光客入込数 4,853人(H30)	5,080人	2,990人	5,726人	6,300人	1 地域資源を活用した新事業の展開 ・新事業の検討及び試行 ・観光施設の指定管理運営(キャンプ場、森林鉄道) 2 交流人口の拡大 特色ある交流イベントの開催及びブラッシュアップ 魚梁瀬桜まつり(4月) フェスティバル魚梁瀬(7月) 秋の観光ツアー(10~11月) 3 情報発信の取り組み 広報やPRの検討及び実施	1 地域資源を活用した新事業の展開 ・馬路村直営「やなせの湯」の営業再開(4/26) ・キャンプ場予約サイト「なつぷ」でのネット予約開始(区画サイトのみ) ・県集落活動センター整備事業補助金の活用(車両の購入) 2 交流人口の拡大 ・コロナウイルス感染防止による各イベント中止。 ・森林鉄道「ひなまつり列車」の運行(2/27、3/3、3/6) 3 情報発信の取り組み ・しこく絶景たびにて魚梁瀬森林鉄道の放映(NHK総合5月28日9:30~) ・NHKごうちいちゃん「あなたのまちにおじゃまします」にて魚梁瀬森林鉄道生中継(NHK総合9月22日18:10~) ・集落活動センターやなせの発行、地区内配布(6/28、8/10、12/1、2/10)	5,487人 ・R3目標達成率: 95.8% ・対前年比: 183.5% ※R2年度は改修工事のため4月のみの営業となっていたやなせの湯が、4/26から営業再開(土曜日のみ営業)したため増加(対R元年比: 108.0%)	B	(成果) 車両の購入により魚梁瀬地区の高齢者を馬路村文化祭へ送迎する等新たに福祉事業に取り組む機運が高まった。 (課題) 活動メンバーの固定化 (今後の方向性) ・福祉事業の実施、運営体制の確立 ・地区内人材の掘り起こしや地域おこし協力隊等の外部人材の活用	6,017人	1 地域資源を活用した新事業の展開 ・新事業の検討及び試行 ・観光施設の指定管理運営(キャンプ場、森林鉄道) 2 交流人口の拡大 ・特色ある交流イベントの開催及びブラッシュアップ 魚梁瀬桜まつり(4月) フェスティバル魚梁瀬(7月) 秋の観光ツアー(10~11月) 3 情報発信の取り組み 広報やPRの検討及び実施
その他	30 集落活動センターげいせいを拠点とした“小さくてももっと元気で輝くむら”づくり (芸西村) 【実施主体】 ◎集落活動センターげいせい芸西村	加工品等販売額 108万円(H30)	180万円	180万円	340万円	500万円	1 特産品づくりと外商活動 ・新商品の企画・開発 ・商品の磨き上げ ・外商の展開 2 経済的自立に向けた取り組み ・シキミの栽培・販売 ・竹林伐採の受託等 ・新規事業の検討	1 特産品づくりと外商活動 ・商品の取り扱い事業者の確保(高知空港、県庁生協、こうち生協、ネットヨタ南国等) ・新商品の企画・開発と商品の磨き上げ(中山間地域振興アドバイザー(RKC調理製菓専門学校教員)による講習会の開催 3回) 2 経済的自立に向けた取り組み ・シキミの栽培と販売 森林技術センターによるシキミの栽培の講習会を芸西村で開催 1回(3/8)	308万円 ・R3目標達成率: 90.6% ・対前年比: 171.1% ※商品数の増加と販路拡大による販売額の増加	B	(成果) ・白玉糖商品の取り扱い事業者が拡大し、販売額の増加につながった。 ・加工品づくりのアドバイザーを受け入れたことにより、既存商品のブラッシュアップと新商品開発の機運が高まった。 (課題) ・収入源となる新たな事業の検討 ・集落活動センターの活動を担う会員の増加 (今後の方向性) ・センター会員の確保 ・効率のよい商品の製造や販売ができる体制づくり。	420万円	1 特産品づくりと外商活動 ・新商品の企画・開発と商品の磨き上げ ・加工品等の取り扱い事業者の開拓 ・ふるさと集マルシェやまるごと高知でのプロモーションに参加。 2 経済的自立に向けた取り組み ・竹の伐採や松原の雑木処理等の受託の継続 ・新規事業の検討

令和3年度産業振興推進総合支援事業費補助金の導入状況(交付決定又は採択事業)

単位：千円

取り組み	事業概要	総事業費（補助金額）
No.7 芸東地域の水産物の付加 価値向上と販路拡大（室戸市） R4.1.6 交付決定	高知県産魚を活用した水産加工品 施設整備事業	205,355（50,000）

地域産業クラスタープロジェクトの推進

地域に根差した産業を核として、その周りに様々な産業を集積させる「地域産業クラスター」の形成に取り組むことにより、第一次産業から第三次産業までの多様な仕事を創出し、若者が地域地域で働き続けられる土壌づくりを目指していきます。クラスター形成を目指す「クラスタープロジェクト」として、19のプロジェクトを位置づけており、その一つひとつに、県、市町村、関係団体等で構成する「プロジェクトチーム」を設置し、プランの策定からその実行までをサポートしていきます。

地域	分野	プロジェクトNo.・名称	取り組み概要（目指す姿）	取り組み状況
安芸	農業	No.1 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト	<p>県東部の基幹品目であるナスの生産拡大を目指して、新技術の定着や担い手対策を進める。また、ナスの機能性表示を生かした青果販売や新たな加工品の開発・販売及び地元飲食店等での利用促進に取り組む、クラスターの形成を図る。</p>	<p>これまでの取り組み（H28～R3）</p> <p>日本一のナス産地の維持・発展のため、最新技術の研究及び導入から新規参入まで一貫した支援を実施。また、ナスを活用した新たな加工品やメニューの開発に取り組むとともに、道の駅大山や地元飲食店等による販売促進を行ってきた。</p> <p>R2年度は環境制御技術の向上や病害対策の徹底等に取り組む、出荷量が5,162tとなった（R2目標4,805t）。また、焼きナスソフトクリーム及び焼きナスの豆乳アイスの開発をするともに、市内のナス料理等提供店18店舗が参加するスタンプラリーを開催した。</p> <p>R3年度には、環境制御技術の向上や病害対策の徹底指導を継続し、新規就農者に対しては経営・栽培指導を実施したことで、出荷量は5,452 tとなった（R3目標4,895 t）。また、機能性表示のPR動画の公開及びチラシ・ポスター・のぼり旗の作成を実施した。</p>
		<p>関連する地域AP</p> <p>No.2 日本一のナス産地拡大クラスタープロジェクト</p>		<p>R4年度の計画</p> <p>ナスを原材料とする加工事業者の掘り起こし及びナスの機能性表示を活かした効果的なPR方法の検討</p> <p>実施主体に（一社）こうち絆ファームを追加。（R4年度に農福連携のハウス増設予定のため）</p> <p>安芸市クラスタープラン（H29.3.26策定：5年間）更新予定。</p>